**令和５年度大阪府がん対策推進委員会第２回肝炎肝がん対策部会（概要）**

**１．日　時：令和６年３月１日～３月１１日（書面開催）**

**２．議　事：**

　(1)大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

　(2)令和４年度肝炎専門医療機関の現況報告について

(3)肝炎医療コーディネーターについて

(4)肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について

(5)肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について

(6)肝炎・肝がん対策事業について

　①肝炎初回精密検査費用助成事業及び肝炎定期検査費用助成事業について

　②肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

(7)第３期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

**３．委員からの意見要旨と審議結果**

**（１）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について**

【審議結果】　承認

【意見要旨】

〇　肝炎協力医療機関の減少傾向はやむを得ないが、減少の背景分析、対策の策定の検討を。

**（２）令和４年度肝炎専門医療機関の現況報告について**

【意見要旨】

〇　常勤の肝臓専門医を配置してほしい。肝炎専門外来を設けて、積極的にセカンドオピニオンの提示をしてほしい。研修会へも参加を。拠点病院と大阪府の連携を強化する取組みの拡充をしてほしい。併せて今年度の具体的な取組みを示してほしい。

〇　前回に比し、治療実績がC型で減少するのは想定内だが、B型で増加している理由について調査いただきたい。

**（３）肝炎医療コーディネーターについて**

【意見要旨】

〇全国トップの養成数と取組案を高く評価。活動促進に期待。患者講義を養成研修に取り入れるとともに、「知って肝炎プロジェクト」の周知も併せて願う。

〇　コーディネータが数名いるが、実質的活動はほとんどしておらず、肝炎・肝がん対策事業の啓蒙のための何らかの役割を考慮中。

〇　健康サポート薬局の未配置が課題。

〇　WEBでの講習参加が可能になったことで、活動が普及している。コロナが鎮静化してもWEB講習は続けていただきたい。

**（４）肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について**

【意見要旨】

〇　大阪府と市町村の連携を促進し、肝炎ウイルス検査と特定検診・がん検診が同時に受けられるようにしてほしい。肝炎ウイルス検査のはがきによる個別受診勧奨をしてほしい。陽性者に対するフォローアップをより強化する具体的施策、過年度陽性者の未受診者へのフォローも実施してほしい。

〇　６０歳代から７０歳代の重点勧奨対象集団に対する取り組みは比較的順調。

**（５）肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について**

【意見要旨】

〇　市町村の肝炎ウイルス検査受検率に格差が生じないよう均てん化を図ること。

〇　HBV検査数もHCV検査数もコロナ禍で下がっているが、広報等で周知すべき。

〇　肝炎の検査だけで専門医療機関に受診するのは難しいのでは。補助金について患者個人が申

　請しなければならないシステムに問題あるのでは。

**（６）肝炎・肝がん対策事業について**

【意見要旨】

〇　肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について、医療機関・保健所・市町村等に周知するとともに、手続きの簡素化を求める。府下のがん診療連携拠点病院はすべて指定医療機関に指定されるよう求める。

〇　がんセンターは専門病院であり、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の浸透を重要課題と考えている。

〇　患者の声を重視すべき。

〇　患者への公費助成は続け存続すべき。ただし、身体障がい者の認定基準でウイルス性肝炎感染の有無があるのは、治療が格段に良くなったので改定すべき。難治性肝疾患のPBC、MASHの点数が相対的に低くなることにつながる。

**（７）第３期大阪府がん対策推進計画（進捗管理・中間点検報告）について**

【審議結果】　承認

【意見要旨】

　　〇　肝炎ウイルス検査累積受診者数が２０２３年度の目標１０９万人に達するかは

疑問。